

【 感 染 症 予 防 課 】

第 1 感染症対策事業

1 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成10年法律第114号、以下「法」という。）に基づき、感染症の発生の予防及びそのまん延防止のための疫学調査、病原体検査、健康診断、消毒指導などを行っている。また、患者に対する就業制限や入院勧告等を実施し、入院を勧告した患者の医療費の公費負担を行っている。

(1) 全数把握対象疾患届出数

ア 一類感染症、二類感染症（結核を除く。）については届出無し。

イ 三類感染症 (単位：件)

感染症名	報告件数	内 訳
腸管出血性大腸菌感染症	4	0103(1)、0157(3)

ウ 四類感染症 (単位：件)

感染症名	報告件数	内 訳
つつが虫病	1	
デング熱	1	輸入例(1)
日本紅斑熱	1	
レジオネラ症	10	

エ 五類感染症 (単位：件)

感染症名	報告件数	内 訳
アメーバ赤痢	1	
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	1	B型(1)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	
クロイツフェルト・ヤコブ病	2	古典型(2)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	
後天性免疫不全症候群	1	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	ワクチン接種歴：有(3)、不明(1)
侵襲性肺炎球菌感染症	12	ワクチン接種歴：有(4)、無(4)、不明(4)
水痘（入院例に限る。）	4	ワクチン接種歴：有(1)、不明(3)
梅毒	15	早期顕症梅毒（Ⅰ期）(7)、早期顕症梅毒（Ⅱ期）(5)、無症候（無症状病原体保有者）(3)
播種性クリプトコックス症	2	
百日咳	220	ワクチン接種歴：有(139)、無(5)、不明(76)
麻しん	5	ワクチン接種歴：有(2)、無(2)、不明(1)

(2) 社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告状況 (単位：件)

感染症名	報告件数	内訳
インフルエンザ	116	介護・老人福祉関係施設(2)、児童・婦人関係施設等(113)、障害関係施設(1)
新型コロナウイルス感染症	16	介護・老人福祉関係施設(14)、障害関係施設(2)
感染性胃腸炎	6	介護・老人福祉関係施設(2)、児童・婦人関係施設等(4)
その他	2	介護・老人福祉関係施設(1)、児童・婦人関係施設等(1)

(3) インフルエンザ様疾患発生報告状況 (2024/25シーズン) (単位：件)

	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	計
保 育 所	—	—	25	25
幼 稚 園	—	—	1	1
小 学 校	—	—	34	34
中 学 校	—	—	11	11
高等学校	—	—	6	6
そ の 他	—	—	1	1
計	—	—	78	78

(4) 就業制限及び入院勧告状況 (結核を除く。) (単位：件)

区分	件数	内訳
就業制限	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)
入院勧告 (法第19条)	—	
入院勧告 (法第20条)	—	

(5) 入院医療費公費負担状況 (結核を除く。) (単位：件)

区分	件数
社会保険支払基金分	—
国 保 連 合 会 分	1

(6) 健康教育 (生涯学習市職員出前講座を含む。)

内容	実施回数 (回)	参加人数 (人)
高齢者の感染症対策	4	93
福祉施設の感染症対策	10	141
エイズ・性感染症 (中高生向け思春期教育)	12	2,466

(7) 岡崎市感染症対策講演会

感染症対策に係る知識の普及啓発を行うため、医療・介護従事者等を対象とした講演会等を開催している。

(単位：人)

開催日	演題名	講師	会場	対象者	参加人数
11月5日	輸入感染症アプローチ	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター国際 感染症センター フェロー 永瀬 裕一朗氏	岡崎市医師会 公衆衛生セン ター4階 研 修室3	岡崎市 医師会 会員医 師等	72

※開催方式：会場とオンラインによるハイブリッド開催

(8) 調査研究協力

薬剤耐性（AMR）対策の一環として、薬剤耐性菌の調査研究（藤田医科大学医療学部 和知野純一教授）へ協力した。

研究題目	ワンヘルスアプローチに資する環境由来薬剤耐性菌の調査研究
研究目的	展示動物、環境水などから様々な薬剤耐性菌が検出されており、ワンヘルスの観点から薬剤耐性（AMR）対策の重要性が注目されている。展示動物や環境からヒトへの薬剤耐性菌の伝播、また、ヒトから環境や展示動物への伝播が生じ、このような薬剤耐性菌の循環により、展示動物やヒトが薬剤耐性菌に汚染される事態が進行していると考えられる。しかし、展示動物が保有する薬剤耐性菌や環境中の薬剤耐性菌の実態については、未解明な点も多く残されている。 そこで本研究では、展示動物が保有する薬剤耐性菌や環境中の薬剤耐性菌の現状をあきらかにすることを目的とする。
研究方法	・期間：2025年4月から2026年3月まで ・実施場所（検体）：岡崎市東公園動物園（動物糞便）、農業集落排水処理施設（処理水）、岡崎市民病院（下水） ・解析方法：藤田医科大学にて、回収した検体より薬剤耐性菌の分離を行う。分離した薬剤耐性菌のゲノム情報を次世代シーケンス解析等により明らかにする。

【関連発表】

演 題	学会名等	発表年月日	発表者等
農業集落排水から検出されたESBL産生腸内細菌目細菌の遺伝子解析	第37回日本臨床微生物学会	令和8年2月15日	法月千尋（藤田医科大学）、中根邦彦、和知野純一（藤田医科大学）

2 感染症発生動向調査事業

「愛知県感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき、定点把握対象の五類感染症及び法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の患者の発生動向を把握するため、医療機関（指定届出機関（定点））から患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・解析し、関係機関等に情報の還元を行い、適宜市民に対して流行している感染症への注意喚起を行っている。

(1) 指定届出機関（定点）（令和8年3月31日現在）

（単位：機関）

指定届出機関							病原体定点									
患者定点							疑似症 定 点	小児科	ARI (指定提出機関)			眼科	基幹			
小児科	急性呼吸器感染症(ARI)			眼科	STD	基幹			小児科					眼科	基幹	
	小児科	内科	[実数]							小児科	内科					[実数]
5	5	4	[9]	2	4	1	2	1	1	—	[1]	—	1			

(2) 疾患別病原体検査

（単位：件）

疾患名	急性呼吸器感染症	感染性胃腸炎	ヘルパンギーナ	麻疹	つつが虫病	日本紅斑熱	デング熱	不明	計
件数	108	2	1	5	1	1	1	24	143

※検査は愛知県衛生研究所又は国立感染症研究所に依頼

(3) 定点把握対象疾患報告（週報は当該年第14週から翌年第13週までの報告）（単位：件）

感染症名		年度	R5年度	R6年度	R7年度
RSウイルス感染症（週報）			519	546	350
咽頭結膜熱（週報）			412	48	84
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（週報）			715	944	503
感染性胃腸炎（週報）			4,082	3,454	3,131
水痘（週報）			37	96	38
手足口病（週報）			86	2,863	46
伝染性紅斑（週報）			5	19	602
突発性発しん（週報）			138	134	132
ヘルパンギーナ（週報）			477	230	121
流行性耳下腺炎（週報）			16	18	11
インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）（週報）			9,524	4,353	8,368
インフルエンザによる入院患者（週報）			117	207	199
新型コロナウイルス感染症（週報）※ ¹			4,264	3,505	1,282
新型コロナウイルス感染症による入院患者（週報）※ ²			218	359	120
急性出血性結膜炎（週報）			—	—	—
流行性角結膜炎（週報）			16	3	14
性器クラミジア感染症（月報）	男		43	35	37
	女		54	57	70
	計		97	92	107
性器ヘルペスウイルス感染症（月報）	男		30	40	35
	女		63	84	110
	計		93	124	145
尖圭コンジローマ（月報）	男		1	—	—
	女		16	5	5
	計		17	5	5
淋菌感染症（月報）	男		24	24	26
	女		7	15	7
	計		31	39	33
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）（週報）			—	—	—
クラミジア肺炎（オウム病を除く）（週報）			—	—	—
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）（週報）			2	—	—
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症（月報）			—	—	—
マイコプラズマ肺炎（週報）			7	83	96
無菌性髄膜炎（週報）			6	—	—
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症（月報）			1	46	35
薬剤耐性緑膿菌感染症（月報）			—	—	—
法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症			—	—	—

※¹ 令和5年第19週から

※² 令和5年第39週から

3 特定感染症対策事業

H I V感染症を含めた性感染症（梅毒、淋菌、性器クラミジア感染症）の感染拡大防止を図るため、知識啓発の健康教育や相談を行うとともに、毎週1回の昼間検査と毎月1回の夜間検査を実施している。さらに、検査機会の一層の拡大のため、「H I V検査普及週間（6月1日から7日）」及び「世界エイズデー（12月1日）」に合わせて特別検査を実施している。

また、国の肝炎総合対策に基づき、肝炎に関する相談と、B型・C型肝炎のウイルス検査を無料で実施している。その他、感染者の肝炎治療に係る経済的負担を軽減するために、愛知県の実施する医療給付事業の申請等を受付している。

(1) エイズ及び性感染症対策事業

ア H I V感染症・性感染症検査及び相談

（単位：件）

HIV感染症検査	梅毒検査	性器クラミジア検査	淋菌検査	相談
566(0)	560(45)	178(4)	178(2)	26

※（ ）内は陽性件数

イ 特別検査におけるH I V感染症検査（再掲）

（単位：件）

HIV検査普及週間（6月2日）	世界エイズデーHIV検査（12月1日）
5(0)	7(0)

※（ ）内は陽性件数

ウ H I V感染症確認検査（再掲）

（単位：件）

件数	2(0)
----	------

※（ ）内は陽性件数

(2) 肝炎ウイルス対策事業

ア B型肝炎・C型肝炎検査及び相談

（単位：件）

B型肝炎検査	C型肝炎検査	相談
303(0)	289(0)	17

※（ ）内は陽性件数

イ 医療給付事業の申請書等受付状況

（単位：件）

	B型・C型肝炎 患者医療給付事業	肝がん・重度肝硬変 患者医療給付事業
医療給付事業申請書	197	2
医療給付事業申請書記載事項変更届出書	15	—
医療給付事業所得状況変更申請書	1	
受給者票有効期間延長届出書	—	
受給者票返納届出書	—	
受給者票再交付申請書	—	—
受給者票転入届出書	—	—
医療給付事業申請の取下げ届出書	—	
受給者票有効期間修正願	—	
参加終了申請書		—

(3) 啓発事業

実施行事名	実施日	内容
世界エイズデー (World AIDS Day : 12月 1 日)	11月 1 日	市政だより (11月 1 日号) への掲載
	11月 6 日	愛知県岡崎警察署へ性風俗店事業所への啓発物品 (チラシ、ウェットティッシュ) 配布を依頼
	11月19日	働き世代の健康情報 (メール、FAX、郵送による企業等への啓発 (141か所))
	11月24日	エフエムEGAO (えがお) 「市役所探訪 保健所からの健康お助け情報」 (FMラジオ放送による啓発)
	12月 6 日	岡崎市看護専門学校祭にて啓発品の配布

4 新興感染症対策

新興感染症対策については、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、国において法及び関係法令の整備が進められ、平時からの備えと発生時の迅速な対応を一層強化するための体制づくりが進められている。

岡崎市においても、国の基本指針及び愛知県感染症予防計画との整合性を図りながら、令和6年3月に「岡崎市感染症予防計画」を策定し、さらに令和7年3月には「岡崎市保健所健康危機対処計画（感染症編）」を策定するなど、新興感染症の発生及びまん延に備えた取組を進めている。

令和7年度は、これらの計画に基づき、関係機関との連携強化、情報収集・分析体制の確保、初動対応の確認など、発生時に備えた実効性のある対策を引き続き推進するとともに、令和6年7月の「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の全面改定及び令和7年6月の「愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定を受けて、これらの計画と整合性を図りながら「岡崎市新型インフルエンザ等対策行動計画」についても令和8年7月の改定に向けて整備を進めた。

(1) 愛知県感染症対策連携協議会

愛知県が、予防計画の実施状況・その実施に有用な情報を共有することで関係機関間の連携強化を図り、感染症発生・まん延時には必要な対策の実施について協議するよう努めるため、管内保健所設置市、医療関係者、消防機関その他関係機関を構成員とする連携協議会を創設した。令和7年度は主に愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画の策定と愛知県感染症予防計画の実施状況及び評価について協議を行った。

ア 愛知県感染症対策連携協議会

実施日	議題
5月20日 (書面開催)	検討事項 愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画（最終案）について
9月4日	1 議題 愛知県感染症予防計画の実施状況及び評価について 2 報告事項 (1) 各保健所設置市感染症予防計画の実施状況及び評価について (2) 岡崎市民病院の結核・感染症病床の整備について

イ 愛知県感染症対策連携協議会医療に関する検討部会

実施日	議題
4月25日 (書面開催)	検討事項 愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画（最終案）について
7月14日	検討事項 令和6年度における愛知県感染症予防計画の実施状況及び評価について

(2) 岡崎市感染症対策協議会

岡崎市内における感染症のまん延防止や、感染症に対する市民の不安解消を図るための必要な対策を実施するにあたり、医療関係団体などの関係機関との意見交換を行う場として設置するものであり、令和7年度は岡崎市感染症予防計画に基づく令和6年度の実施状況の評価の確認をするとともに、岡崎市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について協議を行った。

実施日	構成員	議題
8月1日 (書面確認)	岡崎市医師会、岡崎歯科医師会、岡崎薬剤師会、医療機関（岡崎市民病院、藤田医科大学岡崎医療センター、宇野病院）、岡崎市消防本部	岡崎市感染症予防計画の進捗状況及び評価等の確認について
11月28日	岡崎市医師会、岡崎歯科医師会、岡崎薬剤師会、医療機関（岡崎市民病院、藤田医科大学岡崎医療センター、宇野病院）、岡崎市消防本部、岡崎市保健所	1 岡崎市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）について 2 今後の予定について

5 結核対策

法に基づき、主に結核患者の治療支援や、結核の早期発見のための健康診断を実施している。また、感染症診査協議会を開催し、患者に対する就業制限や入院勧告等の実施、結核医療費の公費負担を行っている。

(1) 結核患者及び死亡状況

(単位：人・率・年)

	結核死亡者数		新登録患者数				年末時登録者数			人口
	総数	死亡率	総数	り患率	菌陽性数	菌陽性り患率	総数	活動性結核	有病率	
岡崎市	2	0.5	20	5.3	8	2.1	50	13	3.4	379,817
愛知県(R6年)	100	1.3	692	9.3	212	2.8	1,358	433	5.8	7,465,250
全 国(R6年)	1,461	1.2	10,051	8.1	3,352	2.7	21,621	6,712	5.4	123,802,000

「愛知県」は名古屋市を含む。「岡崎市」の結核死亡者数については概数である。

※人口は10月1日現在

※率は人口10万人あたり

※菌陽性り患率は、喀痰塗抹陽性肺結核患者のり患率とした。

※結核死亡者数は、人口動態統計による。

(2) 全登録者の状況

(単位：人・年)

	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性			治療中	観察中
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他					
				総数	初回治療	再治療							
入院	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	
外来（他疾患入院）	1	1	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	
外来（通院）	11	11	8	2	2	—	5	1	3	—	—	3	
治療なし	37	—	—	—	—	—	—	—	—	37	—	—	
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総数	50	13	10	3	3	—	6	1	3	37	—	3	

(3) 新登録患者の状況

(単位：人・年)

区 分 年 齢		活 動 性 結 核							潜在性 結 核 感染症 (別掲)	
		総 数	肺結核活動性					肺 外 結 核 活動性	治療中	
			総数	喀痰塗沫陽性			その他の 結核 菌陽性			菌陰性 ・ その他
				総数	初回 治療	再治療				
		20	16	8	8	—	7	1	4	4
0～4歳		—	—	—	—	—	—	—	—	—
5～9歳		—	—	—	—	—	—	—	—	—
10～14歳		—	—	—	—	—	—	—	—	—
15～19歳		—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳		3	2	—	—	—	2	—	1	2
30～39歳		1	1	1	1	—	—	—	—	1
40～49歳		2	2	—	—	—	1	1	—	—
50～59歳		1	—	—	—	—	—	—	1	1
60～69歳		1	1	1	1	—	—	—	—	—
70～79歳		4	3	3	3	—	—	—	1	—
80歳以上		8	7	3	3	—	4	—	1	—

(4) 保健指導

(単位：人)

相談		訪問指導			
電話	来所				
延べ人員	延べ人員	実人員		延べ人員	
		(再掲)DOTS		(再掲)DOTS	
67	48	33	31	148	129

(5) 結核菌の遺伝子型別検査 (V N T R) (単位：件)

件数	12
----	----

(6) 管理検診実施状況

(単位：人)

受診者数	判 定			
	要医療者数	要 観 察		観察不要の者
		医療終了後2年未満	医療終了後2年以上	
21	15	4	—	2

(7) 健康診断実施状況

(単位：人)

区 分		受診者	ツベルクリン 反応検査		IGRA 検査	直接 撮影	喀痰 検査	発見者数		
			被注射者	被判定者				結核 患者	潜在性 結 核 感染者	発 病 の お そ れ がある者
定 期	住 民	49,802				49,802		1	—	—
定期外	患者家族	20	—	—	20	19	—	—	—	—
	接 触 者	42	—	—	39	36	—	—	3	—
計		49,864	—	—	59	49,857	—	1	3	—

(8) 感染症診査協議会診査報告状況（結核）

開催回数14回

（単位：件）

就業制限診査（法第18条）	17
入院勧告報告（法第19条）	7
入院勧告診査（法第20条第1項）	7
入院勧告延長診査（法第20条第4項）	10
医療費公費負担診査（法第37条の2）	38

(9) 結核医療費公費負担状況

ア 法第37条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担状況

（単位：件・年）

	被用者保険		国民健康保険			高齢医療	生活保護法	その他	計
	本人	家族	一般	退職本人	退職家族				
R6年末現在	—	—	—	—	—	1	—	—	1
R7年中承認数	—	1	—	—	—	4	—	1	6
R7年中解除数	—	1	—	—	—	4	—	1	6
R7年末現在	—	—	—	—	—	1	—	—	1

イ 法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担状況

（単位：件・年）

	被用者保険		国民健康保険			高齢医療	生活保護法	その他	計
	本人	家族	一般	退職本人	退職家族				
申請	8	2	3	—	—	8	—	1	22
適正	8	2	3	—	—	8	—	1	22
承認	8	2	3	—	—	8	—	1	22

ウ 法別診療報酬支払状況

（単位：件）

	法第37条の2	法第37条	計
社会保険支払基金分	121	4	125
国保連合会分	89	14	103
計（延件数）	210	18	228

(10) 結核指定医療機関指定状況

ア 申請・届出状況

（単位：件）

	病院・診療所	薬局	計
指定申請	1	6	7
変更届	0	7	7
辞退届	1	5	6
死亡・失そう届	—	—	—
計	2	18	20

イ 指定状況（令和8年3月31日現在）

（単位：件）

病院	診療所	薬局	計
12	140	162	314

(11) 結核研修会

(単位：人)

開催日	演題名	講師	会場	対象者	参加人数
3月3日	外国出生結核患者について	岡崎市保健所生活衛生課 感染症対策係職員	専門学校 教室	外国籍の在籍が 多い専門学校の 職員	7

(12) 結核予防対策事業費補助金

法第60条（地方自治法施行令第174条の49の16による準用による。）の規定により、学校又は施設の長が行う結核の定期健康診断事業について補助を行った。

(単位：件)

交付先	法人数
学校	10
施設	1